

新年号スペシャルインタビュー

看護師の自由

川村佐和子×川口有美子

難病ケアは、当事者、医療者、行政などさまざまな立場の考えによって成り立っています。難病患者側の立場で活動している川口有美子氏が、難病患者の在宅ケアとその支援体制づくりに第一線がかかわってきた川村佐和子氏にインタビューし、社会的側面をもつ難病ケアの歴史、これからの方向性を探るとともに、川村氏の看護に対する姿勢、戦略、原動力を明らかにします。

特別記事

SEIQoL(シーコール) ——患者個人の主観的 QOLのための評価法

大生定義

難病看護の挑戦

大森美保

わたしたちはこうしている

終末期における口腔ケアの要点

大田洋二郎

編・集・後・記

●雑誌編集の仕事では初対面の、それも目上の人にお会いする機会がたくさんあります。今でこそ、「よし!」と腹が決まるようになってきましたが、10年ほど前、会社に入ったばかりの頃は毎回のよう極度の緊張に見舞われていました……いや、実は今でも、はじめての先生に電話をかけるのはあらゆる業務のなかでもっとも緊張が高まる瞬間です。アポイントメントをとるだけなのに「明日のほうがいいかな」などと根拠のない理由を頭に浮かべながら、先送り先送りにしてしまいがち。でも考えてみると、看護は、毎日のように初対面の人と顔を合わせのお仕事ですね。しかも、いつ、どんな人と出会うのかについては、一切コントロールできない。「断られたらどうしよう」「怖い人だったらどうしよう」というネガティブイメージにとらわれがちな自分にとって、取材先の看護師さんの笑顔と肝っ玉は、仕事を続けていくうえでの最高級の教科書です。(鳥居)

●ストレスがたまってしまったとき、どうしますか。睡眠、食事、運動、旅行などいろいろな解消法があります。そんなとき、わたしは靴をみがきます。毎日履いている革靴の汚れを落とし、クリームを塗りこみ、つま先と踵の部分には息を吹きかけ、湿らせて丁寧にみがきます。みがいているときの私には「一心不乱」という言葉がぴったりでしょう。みがいている時間は、何も考えず、とても心地よいのです。丁寧にみがくほど靴も私の心もきれいになるような気がして、みがき終わったときは、なぜか気持ちがスッキリしています。これはストレス「解消法」ですが、その一歩手前の「対処法」を知ることができればもっと心地よく過ごせると思います。今度の懸賞論文のテーマは「同僚ストレス」です。みなさまのご応募から、ぜひ対処法を学びたいと思っています。(吉田)

看護学雑誌 第72巻第12号 2008年12月1日発行(毎月1回発行)

発行/株式会社医学書院 代表者 金原優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2008, Printed in Japan

1部定価 1,260円(本体1,200円+税5%) 年ざめ予約購読料 13,200円(税込、送料弊社負担)

・定期購読のお申し込み先/(株)医学書院販売部 TEL 03-3817-5659

・Vol.70 No.11以前のバックナンバーのご注文先/(株)東亜ブック TEL 03-3985-4701

『看護学雑誌』編集室(担当/白石・鳥居・吉田) TEL 03-3817-5772

E-mail kangaku@igaku-shoin.co.jp 医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp>

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

JCLS <(株)日本著作出版権管理システム委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(TEL 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。本誌掲載論文・記事のタイトル頁最下段に記された「0386-9830/08/¥250/論文/JCLS」は、1論文1回複写につき250円要することを明示したものです。これは表示のない論文等にも適用されます。JCLSへのご連絡の際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。